

第5回 鎌での手刈り楽しかった！ 稲刈り・脱穀体験

月 日：令和5年10月17日（火）

場 所：三重大学附属紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター附属施設農場
（三重県津市）

参加者：三重県津市立 大里小学校 5年生 38名

5年生児童38名が、三重大学の先生から、米作りの現状と機械化やロボット、AI（人工知能）、IoT（あらゆるモノをインターネットに接続する技術）などを使った農業が進められているなど、近年の新たな農業について教えていただきました。



（三重大学の先生のお話）

現在の米作りは機械化が進み、高齢者でも楽に作業を進めることができるようになってきました。

人の手がなくても農業を行うことができるような時代になっていく可能性があります。

デジタル技術の活用や効率のよい農業をやっていくために、若者の農業参入を強く期待しています。



（子どもたちの声）

「稲からどのように私たちが食べているお米になっていくかの過程を見ることができたので勉強になった。」

「米作りの大変さが身にしみてわかった。農業の機械化が進んでいることが分かった。」

「稲を実際に刈ることができて楽しかった。」

「コンバインの操作をわかりやすく教えてくれた。」

「脱穀機を体験できて楽しかった。」



～先生の感想～

子どもたちに、たくさんの株数を稲刈りさせていただき、楽しく活動を行うことができました。稲を刈った後の脱穀の作業も体験することができ、米作りの学習に役立てることができました。地元の農園にも見学にいきましたが、ドローンなどを共有して使用するなど、機械化が進んでいることを実感しました。（5年生担任）

